

目次 CONTENTS

- 3 特集 郷土資料館へようこそ
- 6 特集 令和7年度当初予算
- 10 特集 橋本市制20周年
- 12 特集 職員給与を公表します
- 14 情報ワイド
 - ▶プレミアム付デジタル地域通貨
 - ▶がん検診などのお知らせ
 - ▶祝1周年 はしもとプラチカ
 - ▶2025年大阪・関西万博 など
- 20 情報ひろば
- 28 タウン情報
- 29 子育てぱーく
- 30 本のひろば
- 31 健康カレンダー
- 32 フォトピックス

今月の表紙



恋野地区にある稲荷山の満開の桃の花です（昨年春撮影）。

今月のかけ橋人 橋本人

大阪芸術大学



嵯峨谷・大阪芸術大学・和歌山県・橋本市の“山”官学地域連携に参画
木村 正彦さん（大阪芸術大学芸術学部 教授）

令和2年から、嵯峨谷「縁」の会と大阪芸術大学との“山”官学地域連携プロジェクト「嵯峨谷キャンパス事業」を開始して今年で6年目を迎えます。広報誌「谷風」やドキュメント映像の制作などを行ってきました。「紀見こども園」オープンに際しては、ロゴマークなど、本園の統一したイメージを表現するV I（ヴィジュアルアイデンティティ）を制作。橋本市制20周年記念事業のロゴマークも本大学の学生が制作しました。日常生活や、地域の皆さんから話を聞いたことから、考えることで得られる学びは大切です。芸術大学ならではの発想で企画やデザインを制作する、産官学実践授業を取り込んでいます。

ふんかざい 文化財マップ

橋本市内の主な文化財を紹介します。

マップの見かた(例)

文化財の見学について

4月5日(土) 午後1時より オープン!

郷土資料館へようこそ

橋本市の歴史を知っていますか？

「世界遺産・黒河道」「国宝・人物画像鏡」などは、聞いたことがあったり、知っていたりする人も多いと思いますが、それら以外にも、橋本市には貴重な文化財が数多く残されています。

これまで本市には、郷土の歴史への理解を深めていただく施設として、「郷土資料館」と「あさもよし歴史館」があり、長年にわたり親しまれてきました。それら2館が、この度統合移転し、新たな郷土資料館として開館します。

新しい資料館では、縄文時代から現代まで続く、橋本市の歴史について、「みち」というテーマを設け、皆さんに紹介します。「みち」を辿り、橋本市の歴史と文化の魅力を再発見しませんか？

【生涯学習課】

エントランス部分

